

《レバーハンドル》 施工説明書

施工前によくお読みの上、取り付けを行ってください。

施工前に

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の施工業者による施工をお願い致します。
- ・正しく施工を行うために、施工前に必ず施工説明書をお読みください。
- ・梱包部品一覧で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- ・指定寸法は必ず守ってください。

施工上の注意

- ・施工工事の際は、安全を確保して行ってください。
- ・施工説明書の順序通りに施工して下さい。製品の強度や機能が低下する場合があります。
- ・本製品は木製ドア専用です。
- ・ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締め付け、固定してください。
- ・製品の改造はしないでください。
- ・ネジがゆるんだままのご使用はしないでください。故障の原因となり、大きな事故につながります。
- ・ハンドルを回し切る前にドアを強く引いたり、ぶら下がる等、乱暴に取り扱わないでください。
- ・施工終了後に、ネジやビスのゆるみがないか確認してください。

梱包部品一覧

- ・レバーハンドル×2 (角芯付) ・ 施工説明書×1
- ・台座×2 ・ 取扱説明書×1
- ・ケース錠×1 ・ 切り欠き加工図×2
- ・ストライク×1
- ・裏箱×1
- ・レバーハンドル取り付け小ネジ×2本
- ・台座用木ネジ×5本 (備考 M3.5×13)
- ・ケース錠用木ネジ×3本 (備考 M3.7×25、ステンレス)
- ・アーマープレート用皿小ネジ×3本 (備考 M5/32×6)
- ・ストライク用皿木ネジ×3 (備考 M3.7×25)

※予備ネジ各1本付属

勝手変更方法

- ①アーマープレートを外します。
- ②ラッチ勝手変更穴にドライバー等を差し込み、穴の中のレバーをフロント側に押し出すと、ラッチが一段出ます。⇒図 A 参照
- ③ラッチの向きを変えてください。⇒図 A 参照
- ④ラッチを押し込み、レバーハンドルを差し込んで下に押し下げると、ラッチが元の位置に戻ります。⇒図 B 参照

図 A

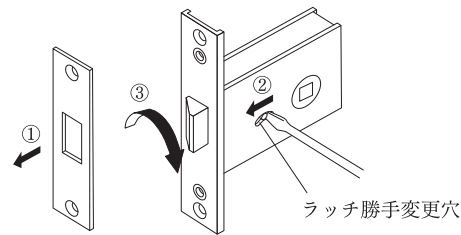
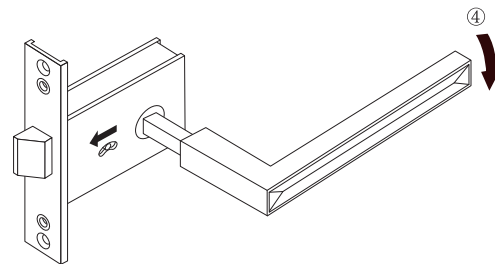
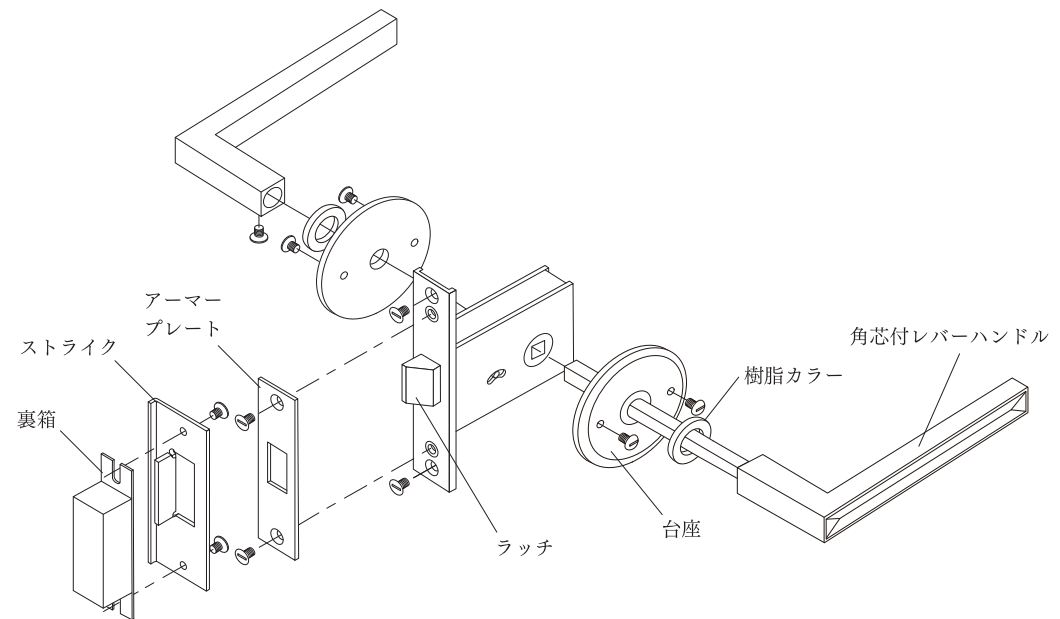


図 B



レバーハンドルの取り付け

- ①ケース錠を付属のネジでしっかり取り付けてください。
- ②台座を角芯付きレバーハンドルで調整しながら、付属のネジで正しい位置に取り付けてください。
※台座の取り付け位置がズれていると、レバーハンドルの戻りが悪くなる場合があります。取り付ける際に、ドライバーの先端で台座を傷つけない様注意してください。
- ③角芯付きレバーハンドルを外部側から差し込み、もう一方の内部側レバーハンドルを角芯に差し込んで、付属のネジでしっかり取り付けてください。
- ④アーマープレートを付属のネジで取り付けてください。
- ⑤ストライクをラッチに合わせて位置をだし、裏箱をセットして付属のネジで取り付けてください。
※ストライクと錠本体の位置関係を正確に取り付けてください。位置関係が正確でない場合には、ラッチがストライクに納まらなかったり、せりが発生し施解錠ができない場合があります。
- ⑥見えがかりのネジにゆるみがないか確かめ、各部品の作動を確認してください。



MATUREWARE

by FUTAGAMI

933-0951 富山県高岡市長慶寺 1000
Tel 0766-23-8531 Fax 0766-26-5614
www.matureware.jp